



# PROGRAM NOTE

2016年10月

## <私は日本の捕虜でありました> ヤコブ・デシェーザー物語

ヤコブが生まれたのは1912年。米国オレゴン州のセーラムでした。真珠湾奇襲攻撃のニュースを聞かされたのは、ヤコブが志願して入隊した米空軍基地でした。料理当番でジャガイモの皮をむいていたヤコブは、そのニュースがラジオから流れると、いきなり手にしていたジャガイモを台所の壁に投げつけました。「今度は俺たちがジャガイモよりもっとひどいものを投げ落としてやるんだ」やがて、その言葉が現実となって日本本土爆撃の計画に本人が参加することになるうとは・・・

1942年、4月18日。日本沿岸に近づいた米海軍大型空母ホーネット号の甲板からB-25爆撃機16機が飛び立ちました。ヤコブの乗った爆撃機は名古屋市内に焼夷弾を落としたあと、そのまま本土を抜けて中国大陸に着陸することになっていたのです。ところが、爆撃のあと連絡がとれないまま燃料が切れてしまい、全員パラシュートで脱出。着地した場所が日本軍の占拠地だったのです。

このあとヤコブは同僚の4人と南京、上海、北京の捕虜収容所を転々とし、日本軍による強引な尋問をはじめ過酷な仕打ちを受けました。苦難のなかでヤコブは看守に頼んで手に入れた英語の聖書を独房の中で何度も何度もくりかえし読み、心に響いた聖書の言葉は暗記しました。

「私は聖書を読み続けました。そして、イエスが十字架にかけられたとき、まわりの人々はイエスを打ち叩き、唾をふきかけ、ののしりました。しかし、イエスは祈られたのです。『父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです』その言葉で私ははっとしました。「何をしているのかわからない人たちですからどうか赦してあげてください」と神にとりなして祈っているのです。そうだ、私も祈ろう。知らないで過ちを犯している人たちを神が赦してくださるように祈ろう。それから一年が経ち、収容所の環境は少しも変わりませんでした。私自身が変わりました。私にひどい仕打ちをしている人たちのために祈ることができたからです。その時、私は祈りの中で神に約束しました。それは、もし奇跡的に私が帰国できたら、こんどは聖書のことを伝える宣教師として私は日本に行きますという約束でした。」

1945年8月。終戦。ヤコブは40ヶ月間の収容生活に終止符をうち、懐かしい母国への帰国を果たしました。さまざまな苦難に耐えて無事に戻ってきたわが子を母親はしっかりと抱きしめ、神に感謝の祈りを捧げました。

「神様、あなたは私の祈りをきいてくださいました。我が子を過酷な環境のなかで守ってくださっただけでなく、さらに、神様のお役に立つ使命まで与えてくださいました。これからも神様のご計画にお従いして進むことができるようにお導きください。あなたは本当に信頼するに価するお方です。」

戦後間もなく日本に宣教師として遣わされたヤコブは、「わたしは日本の捕虜でありました」と題するトラクトを印刷して配布しました。たまたま、その文書を渋谷の駅前で受け取ったのが、真珠湾攻撃の総指揮官淵田美津雄でした。同じような経験を通して聖書と出会ったこのふたりは、人生が一転しました。戦争が引き起こす憎しみと争いの根源を断つために、今度は敵味方を超えての和解の使者として立ち上がったのです。

「日本の捕虜だった」ヤコブと「手負いの虎」の淵田美津雄のふたりは日本中の伝道集会のステージと一緒に立ちました。とくに淵田美津雄は国内だけではなく、ヨーロッパから北アメリカの各地を駆けめぐって赦しあうことの大切さを訴え続けました。

ヤコブが日本を引き揚げるとき、羽田空港には別れを惜しむ大勢の宣教師仲間や日本の教会関係の人たちが押しかけました。故郷オレゴンに引退したヤコブはその後も講演やインタビューの依頼で多忙だったということです。

2008年3月15日、95年間の生涯を神と人のために捧げ、地上での使命をりっぱに果たしヤコブは、天のみ国へとふたたび翼を広げて飛び立っていったのです。



聖書が結ぶ淵田(左)とヤコブ(右)

### サタデー・トーク

### バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
10月01日	<私は日本の捕虜でした> デシェーザー物語(2)	10月02日	金の蛙(中米パナマ便り)／聖地ひとり旅(6)
10月08日	アルゼンチン生活の内幕(1) 元商社駐在員 田村慎雄	10月09日	金の蛙(中米パナマ便り)／聖地ひとり旅(7)
10月15日	アルゼンチン生活の内幕(2) 元商社駐在員 田村慎雄	10月16日	リスナーからの「お便り交換の時間」
10月22日	アルゼンチン生活の内幕(3) 元商社駐在員 田村慎雄	10月23日	金の蛙(中米パナマ便り)／聖地ひとり旅(8)
10月29日	アルゼンチン生活の内幕(4) 元商社駐在員 田村慎雄	10月30日	金の蛙(中米パナマ便り)／聖地ひとり旅(9)

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 17760kHz (再放送) 午後8時～8時30分 15400kHz  
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)